

10 「さわってみよう」というタイトルの展示を工夫して作る。

「さわってみよう」の展示づくり

アメリカの国立公園や保護区をまわると、展示で必ずあるのが「Please Touch!」。極めて簡単な作りですが、いろんなメッセージがこめられています。みんなで展示づくりをしてみましょう。

ねらい

展示づくりをすることを通じて、自然物によくさわると、他の人がさわった時にどう感じるか、ということに思いがいくようになる。

達成目標

- ・さわることで見えてくる新しい視点について2つ以上表現できるようになる。
- ・他人が展示を体験しての反応から気づいたことを説明できるようになる。



導入

3つ以上の自然物を、「さわってみよう」というタイトルをつけて展示し、今回製作するもの見本として体験してもらおう。

まとめ

他のグループの展示を体験してみる。感じたこと、気づいたことなどを紹介しあってみよう。

展開

数人のグループに分けて、グループごとに「さわってみよう」展示を創ってみよう。タイトルの他、さわることや気づきコメントもつけてみよう。

実施のポイント

見た目と実際にさわった感じのギャップが大きい程、興味をひく展示になる。

◆所要時間	1時間
◆人数	~40人
◆関連科目	国語、理科、図画工作
◆焦点を当てる能力	探す、表現する、発見する
◆準備するもの	展示のための道具類
◆安全のポイント	範囲と時間の設定を明確にしよう。

評価の視点
 展示のためによく観察（さわると）していたかどうか。みせるための展示の工夫をしているか。他のグループの人たちの展示をみて良い所を指摘できるかどうか。

発展・応用
 廊下などに一定期間展示してみよう。他のクラスや他の学年の人たちの反応を観察したり、感想をカードにかいてもらうとよい。

参考文献
 オリジナル/「自然教育研究センタープログラム」

10 展示「さわってみよう」

イラストまたは写真を貼りましょう。 _____ 年 月 日 名前 _____



活動を通して感じたことを書いてみましょう。

展示レイアウト案（こんなことを感じて欲しい）

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____

◆製作の工夫 / 製作してみたの感想
